

「日本美しい森 お薦め国有林」

～東大雪における3年間の取組と課題～

十勝西部森林管理署東大雪支署 平門由佳子 蔵野亜紀子

【美しい森お薦め国有林について】

《世界が訪れたくなる日本へ》
 平成28年3月、政府が掲げる「明日の日本を支える観光ビジョン」において、2020年のオリンピックを目標に、「観光先進国」の実現に向け官民一体となって取り組むことが決定しました。特に、近年増加傾向にある訪日外国人旅行者の大幅拡大に向け施策を展開することとし、林野庁としては全国にある「レクリエーションの森(レク森)」の中から、特に魅力的なレク森をモデル箇所として選定し、森林を観光のコンテンツとして整備し、その活用を推進していくこととなりました。当支署では、鹿追町、上士幌町及び新得町のレク森が対象箇所として選ばれ、平成29年度から様々な取り組みを行っています。

《ワーキンググループの設置》
 各協議会にワーキンググループを設置し、話し合いの円滑化を進めています。当支署は、オブザーバーの立ち位置として、助言や専門的な知識を持った顧問の役割を担っています。



【各地域の紹介】

「ぬかびら野外スポーツ地域」 ～癒やしの泉心地ぬかびら源泉郷～

ニベソツ山をはじめとした大雪山を背景とし、標高約550mの高山帯に位置しています。冬は-20℃以下となり、四季を通じた寒暖差が約60℃という厳しい環境にあり、オジロワシやクマガイなどの多様な野生生物が暮らしています。

スキーや登山、森林浴、源泉掛け流しの温泉など、様々な楽しみ方ができる場所です。



「然別自然休養林」 ～星降る湖で森林(世界)を感じながら、 ここでしかできない体験を～

大雪山国立公園の南部に位置する、道内最高所の湖である然別湖を中心に広がる休養林です。固有種のおショロコマ(ミヤベイワナ)が生息するほか、ナキウサギなどの多様な希少野生生物が生息しています。

登山やカヌーのほか、冬は「しかりべつ湖コタン」という氷上の村が開村し、様々なアクティビティを楽しむことができます。



「トムラウシ自然休養林」 ～岳人の憧れトムラウシ山の 麓に広がる原始の森～

北海道のほぼ中央に位置し、活火山を含む山岳を中心とした原始性豊かな地域です。国内で僅か5箇所しか指定されていない原生自然環境保全地域があり、原生のままのエゾマツ・トドマツが見られます。

トムラウシ山は日本を代表する百名山であり、夏には多くの登山客でにぎわっています。



【「日本美しい森 お薦め国有林」の課題に対する具体的な取組事例】

《取組事例①: 標識類の整備》**ぬ** **然** **ト**

《課題》 訪日外国人への対応の遅れ、標識の老朽化

- 日本語表記のみの標識が多く、訪日外国人への対策が不十分でした。
- 誤記のある標識があるほか、標識の老朽化が進んでいました。



英語表記に加え、およびその行程時間も記載し、安全を考慮しました。

《取組》 多言語標識の設置

- 外国語表記を考える際は、地域の国際交流員にワーキンググループの話し合いに参加してもらい、訪日外国人から見ても違和感のない翻訳に努めました。
- 景勝地等の標識を多言語にしたことで、訪日外国人に対しての情報提供が可能になりました。
- 外枠や支柱などで腐朽が進んでいないものは再利用しました。また、標識の設置は協議会会員で行ったため、設置作業の簡易化、及び経費の削減につながりました。



然別自然休養林の案内標識。ピクトグラムを用いて、禁止事項など様々な内容を伝えられるよう標識製作をしました。

《取組事例②: 散策路の整備》**ぬ**

《課題》 散在していた散策路

- レク森周辺には、役場や振興局で整備している散策路がありましたが、それぞれが散在していたため、地域一帯としての巡回ができず、利便性に欠けていました。
- 景勝地等不明瞭な場所や崩れているところがあり、歩きにくい状態でした。

《取組》 巡回路として整備

- 野営場の散策路を整備したことで、レク森を含む地域一帯の巡回が可能になりました。
- 木道を設置したほか、ウッドチップを敷き詰めて歩きやすい道となりました。



《取組事例③: 広報活動》**ぬ** **然** **ト**

《課題》 広報媒体の不足

- 広報媒体が少なく、情報発信が広く行えていませんでした。

《取組》 様々な媒体での情報発信

- ドローンでPR動画を撮影してもらい、YouTubeへの投稿を行いました。これは、全国でも4カ所の取組であり、幅広い情報発信に役立っています。
- また、この動画は、申請をすれば誰でも無償で使用することができます。
- ホームページ及びパンフレットを作成したことにより、より幅広く様々な場面で情報発信ができるようになりました。
- 情報誌「林野」への記事投稿を行い、3箇所すべてで紹介されました。



パンフレットは、英語表記のものも作成しました。



ドローン撮影した動画。雄大な景色を楽しむことができます。

《取組事例④: イベント出展》**ぬ** **然**

《課題》 「レクリエーションの森」の認知度の低さ

- 情報発信不足により、「レク森」が広く認知されていませんでした。

《取組》 イベントにてレクリエーションの森ブースを出展

- 自治体のイベントにワークショップを出展し、その中でレク森のリーフレットを配布するなどPRIに努めました。
- QRコードを付したノベルティグッズを製作し、PR活動に役立てました。



地域の観光パンフレットとともに配布しました。



ひがし大雪自然館まつり「けんだま作り」「わなげ」

《その他取組事例》

- 請負事業による利用状況把握調査
- フォトコンテストへの協力
- 観光推進セミナーへの参加 etc.



フォトコンテストのポスターに起用された作品 (撮影: ㈱ネイチャーセンター)

【今後に向けて】

○インバウンドを含めたマナー啓発活動の推進

入込者の増加に伴い、ゴミの投げ捨てや植物の踏み荒らしが目立つようになりました。また、ドローンの飛行やペット同伴の利用者も増えており、今後、自然保護への理解やマナー啓発が必要と感じています。

近年、訪日外国人の入り込みも増えていることから、日本人だけでなく、訪日外国人を含めた取り組みを行っていきます。

○レクリエーションの森のソフト対策

本事業では、「レク森」の認知度向上に向けたソフト対策も実施しているところですが、まだ十分とは言えません。今後ともリーフレットやHPを活用し広くPRしていくとともに、関係機関との連携を図りながら、レク森内の取り組みやレク森周辺のイベント情報など、リアルタイムに発信できるよう工夫していきます。

○関係機関との連携と情報共有

レク森の管理運営については、関係機関との連携はかかせません。今後ともオブザーバーとして関わりながら、長年継続してきた本活動をより充実したものにしていきます。